



まちなかりノベーション

市内で新しく事業を始める方を対象に、創業に関わる初期費用の一部を補助し、まちなかの活性化に取り組んでいます。



まちなか文化祭

市内の高校生が主体となり、小中学生向けのワークショップやゲームなどを企画。学校の枠を超え、若者がまちなかに愛着を持つきっかけに。



MOTTOXJIMOTO

まちなかの公園などを活用して、子育て世代をターゲットにしたマルシェや地産地消のフード販売、アート体験を実施。



駅前ビアガーデン

令和7年に初めて開催したビアガーデン。飲食物の販売や、テーブル、イスなどを設置し、滞在空間をつくりました。



駅前イルミネーション

中津高校地域探究チームの企画によるイルミネーションの設置。令和7年には、キッチンカー出店事業者とのコラボ企画も実施。



駅前キッチンカー

駅前の魅力づくりとして、キッチンカー出店イベントを開催。現在は民間事業者が主体となり、イベントを継続中。

特集

ここにしかない 魅力があるまちへ

問 都市計画課 (☎内線206)



市では令和5年に、中心市街地のまちづくりの方向性を示す「中心市街地まちづくりビジョン」を策定。市の都市拠点として、さまざまな役割が求められる中心市街地で、官民連携によるまちづくりに取り組んでいます。



「つかう」「関わる」が育む 地域への愛着

探求型のまちづくり

市では、魅力ある中心市街地づくりに向け、まちに残る資源や空間を「つかう」ことや、地域の歴史や文化に触れる機会を増やすことでまちに「関わり」、愛着を持ってもらう取り組みを進めています。

まちなかの公共空間を活用

「MOTTOXJIMOTO もっとなかつがわ」では、市民や民間事業者などと連携し、公園や広場などの公共空間の活用に取り組んでいます。

中津高校地域探究チームとの協働による駅前イルミネーションや、民間事業者による駅前広場での飲食販売、ビアガーデンイベントなど、公共空間を生かした取り組みを進めながら、まちなかで活動する人の輪を広げています。

また、令和8年1月には、まちづくりに関わる人（関係人口）を増やし、新たな魅力を生み出すため、東海旅客鉄道㈱（JR東海）と連携協定を締結しました。

市とJR東海では、令和7年度から、まちの探求プログラム「ローカルリサーチラボ 中津川」を実施しています。市内外の参加者が交流しながら、市内をフィールドワークし、中津川の魅力の掘り起こしや、新たな取り組みにつなげていきます。



▲ローカルリサーチラボの第1回参加メンバー

あなたも一緒に活動してみませんか？

参加者による新たなアクションや、参加者同士で応援し合う関係性が生まれています。

中津川のことを深く知りたい方や、仲間づくりに関心のある方などは、ぜひご参加ください。

新たな出会いがきっと見つかりますよ。




LOCAL RESEARCH LAB 中津川

